

# 農業学園だより

令和6年 12月

Vol.3

県北農林事務所

経営・普及部門

(常陸太田地域農業改良普及センター)



常陸太田普及センターでは、11月26日(火)に、常陸太田合同庁舎において「農業学園第5回講座(土づくり講座)」を開催しました。常陸太田管内の農業学園受講生8名が参加しました。

講座では、始めに物理性・生物性・化学性の3つの性質から考える、土づくりの基礎と土壌診断の活用に関する講義を行いました。

また事前に受講生から預かっていた土を普及センターで分析し、後半はその分析結果をグループで共有しながら、今後の土づくりの方法を考えました。活発な意見交換が行われ、土づくりに関する意欲の高さが伺えました。



受講生からは、「これまでやっていたことが科学的にどう作用していたか再確認できた」、「具体的に何を入れれば良いかの指示があり良かった」、「新しく調べたいことが出てきた」などの声がありました。講義やグループワークが今後の参考になっただけでなく、自身のモチベーション向上にもつながった様子でした。



**【講座の詳細、今後の講座の予定は裏面をご覧ください！】**

農業学園では、今後も普及指導員による定期個別巡回を行っていきます。  
その他普段の農業についての疑問や相談など、お気軽にご連絡ください！  
常陸太田地域農業改良普及センター(担当:大森、北原)

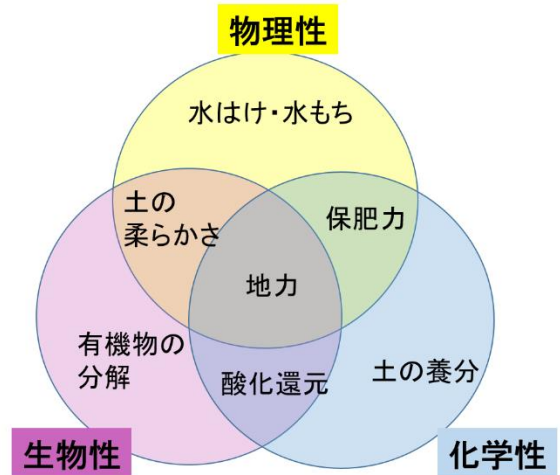
TEL: 0294-80-3340

FAX: 0294-80-3348

# 第5回講座（土づくり講座）のまとめ

## ◆講義「土づくりと土壤診断の活用方法について」

- 土壌は作物の栽培環境の一部を成す重要な要素であり、ここを改善することで生産性の向上に寄与できる。
- 土壌には物理性、化学性、生物性の3つの性質があり、相互に影響しあっている。土づくりとはこの3つの観点から土壌の性質を改善していくことを言う。
- 物理性の改善のためには、作土層確保のための耕起や、団粒構造形成促進のための有機物の施用などの対策がとれる。
- 生物性の改善のためには微生物相の多様性を高く保つことが必要であり、連作を避けたり、有機物を施用したりする方法がある。



土壌の3つの性質の関係

茨城 太郎 様

市町村名 \_\_\_\_\_ ほ場名 \_\_\_\_\_  
作物名 レタス 土壌の種類 【露地野菜(花き)農耕用黒ボク土】

項目	測定値	基準値	前回値
pH(H <sub>2</sub> O)		6 ~ 6.5	
pH(KCl)	6.2	5.5 ~ 6	高い
EC	0.21	0.01 ~ 0.5	適正
石灰	485	400 ~ 450	過剰
苦土	111	45 ~ 55	過剰
加里	91	25 ~ 40	過剰
石灰苦土比	4.4	7 ~ 10	低い
苦土加里比	1.2	1 ~ 2.5	適正
リン酸	106	20 ~ 60	過剰

土壌改良の例

不足成分	土壌改良資材の例
pH(KCl)	0
石灰	0mg/乾土100g
苦土	0mg/乾土100g
加里	0mg/乾土100g
リン酸	0mg/乾土100g

コメント

• 化学性とは土壌中の養分量や酸性度のことであり、その状態を把握するために土壤診断を行う。生育を安定させ、より良い施肥を行うために、結果に応じて適宜施肥や土壌改良を行う。

←土壌診断処方箋の例



## 【今後の農業学園の予定】

今年度の農業学園も残すところあと1回となり、次回は常陸大宮地域との合同開催です。

普及センターでは来年度も引き続き、農業を始めて間もない方等を対象に農業学園を開催し、受講者も随時募集していきます。ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。お待ちしております！

回	時期	内容
第6回	1月21日(火)	県北地域農業青年プロジェクト実績発表会・閉講式 (常陸太田合同庁舎にて)